

令和 7 年度
岬町総合計画後期基本計画
策定のための団体アンケート
(町内団体対象アンケート)
調査報告書

令和7年 9月

目 次

1	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	調査結果の表示方法	1
2	調査結果	2
問1	岬町の印象などについて	2
問2	まちづくりへの参加について	5
問3	貴団体の活動概要について	9
	まちの将来像やまちへの思いなど	13
※参考資料	アンケート調査票	14

1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「岬町総合計画後期基本計画」策定にあたっての基礎資料とするため、関係団体を対象にアンケート調査を行い、日頃の考えや感じていることを聴取することを目的とする。

2 調査方法

① 調査期間	調査開始:令和 7 年 5 月 30 日(金) 回収期限:令和 7 年 6 月 27 日(金)
② 調査対象	対象者:町内で活動されている団体
③ 調査内容	問1 岬町の印象などについて(3 設問) 問2 まちづくりへの参加について(4 設問) 問3 貴団体の活動概要について(5 設問) まちの将来像やまちへの想いなど 合計:14 設問
④ 調査方法	郵送調査方式(郵送にて対象者に調査票を配布し、郵送にて回収)

3 回収結果

配布数	31
回収数	17
回収率	54.8%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

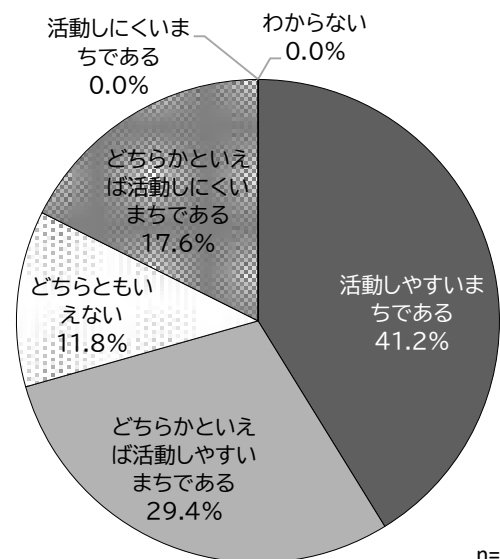
2 調査結果

1 岬町の印象などについて

問 1-1 岬町での活動のしやすさについて、どのように感じておられますか。(1 つに○)

○「活動しやすいまちである」(41.2%)が最も多く、次いで、「どちらかといえば活動しやすいまちである」(29.4%)となっている。「活動しやすいまちである」「どちらかといえば活動しやすいまちである」を合わせると、70.6%となっており、全体の7割が岬町を「活動しやすいまち」と感じている。

調査数(n=17)	回答数	割合
活動しやすいまちである	7	41.2%
どちらかといえば活動しやすいまちである	5	29.4%
どちらともいえない	2	11.8%
どちらかといえば活動しにくいまちである	3	17.6%
活動しにくいまちである	-	-
わからない	-	-



その回答を選択した理由

【活動しやすいまちである・どちらかといえば活動しやすいまちである】

その理由については、4 件の回答があった。

記入回答
活動する団体に所属しているため。人と人とのつながり、優しさがあるため。
行政ではとても理解していただき協力的でありがたいです。
役所の担当者の協力を得ることがよくある。
小さい町なので顔の見える関係があり繋がりを持てる

【わからない】

その理由については、2 件の回答があった。

記入回答
交通の便の課題
活動をしている役員の中で意見が分かれ、現在活動しているため活動はしやすい方である。との回答と役員の高齢化が進んでいるため、困ることが多いという回答がある(どちらともいえない)

【どちらかといえば活動しにくいまちである】

その理由については、3 件の回答があった。

記入回答
施設が充実していない
設備がない。人権意識が低い。活動に理解がない。
メンバーもほとんどが外部からの移住者。地元の人が保守的で外からの人がくるのを嫌がる。今は 20 年以上の活動で歓迎されている。

問 1-2 貴団体から見た岬町のまちづくりの課題は何だと思われますか。(記入回答)

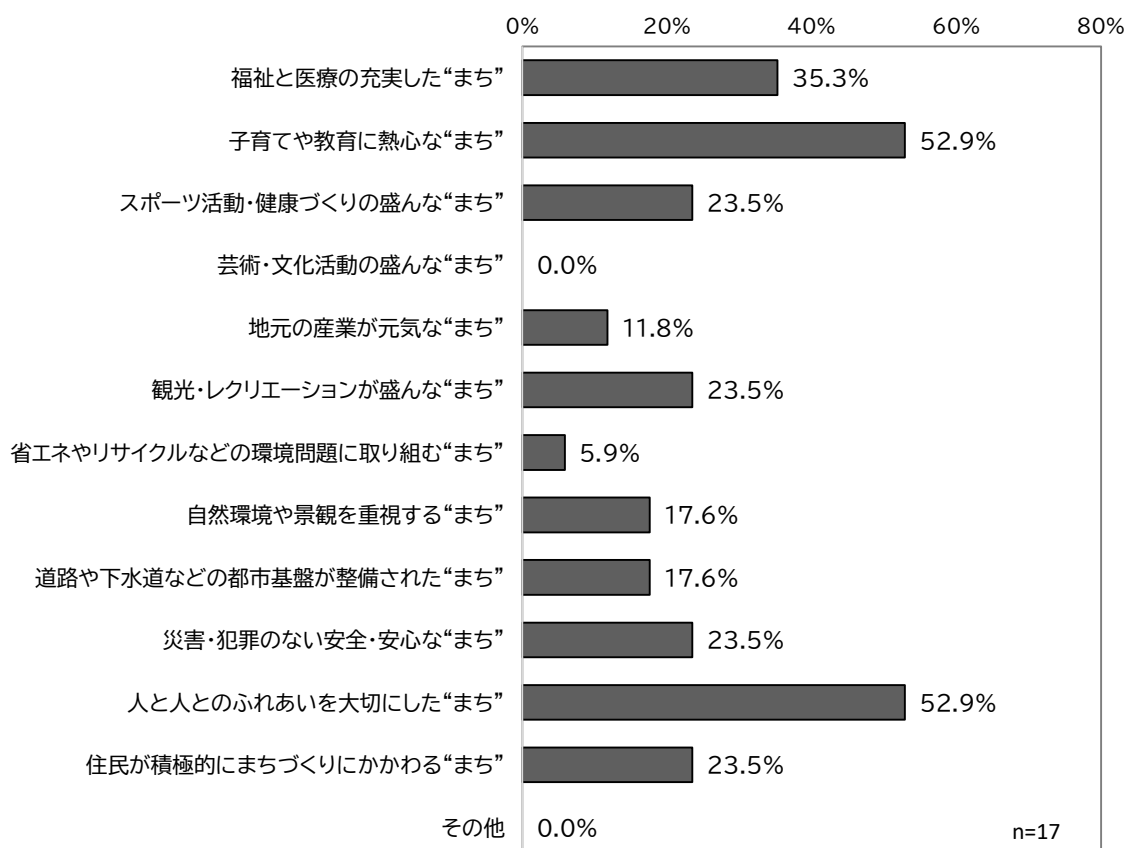
14 件の意見があった。

岬町のまちづくりの課題
活動者の高齢化
協力する若人がいない。高齢化が進んでいるため直近の課題(福祉・医療・生活全般)担い手の不足(ボランティア)
高齢化
高齢化、一人暮らしの増加、活動の担い手不足。仕事をしている子育て世代の地域活動に参加しやすい制度等が未整備であること。
高齢化と共に会員減少
産業か観光か教育か福祉かなど特になくて、バラバラに活動している。
人員不足
人口減少・高齢化
人口減少が著しい。住みたい町づくりが課題
人口増が望めず、少子高齢化が進む中、町の課題はたくさんあると思う。従来の考えにとらわれずに、全く新しい発想と計画を取り入れ町内に住んでいる全ての人が楽しいと感じられる町づくりを進めてほしい。
都会等から転入された方との交流やつながりづくり。高齢化。
色々町長はじめされていますが、若い人たち特に子供が少なくさみしいですね。民生委員として子ども達と関わりたいかなあ。高齢者の方々にはいきいきサロン見守り等しています。
町の観光業発展のため、行政から頼まれて町おこしを請け負った企業の案内等色々協力してきましたが、いつも単発でレポートを出して終わってしまうということが続いている。もう少し息の長い活動をしてほしい。海も山も小さな自然に気付かせるガイドが必要。ウミウシ・ナマコの卵・ホタル・野草や樹木の名前・歴史…等々
若い人たちが住みやすい町というのは自然や優しさだけではなく使える施設、魅力ある行事などが必要。人権の事を考える町。

問 1-3 貴団体では、岬町が将来どのようなまちになることが望ましいと思いますか。
(3つまで○)

○「子育てや教育に熱心な“まち”」、「人と人とのふれあいを大切にした“まち”」(52.9%)が最も高く、次いで「福祉と医療の充実した“まち”」(35.3%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
福祉と医療の充実した“まち”	6	35.3%
子育てや教育に熱心な“まち”	9	52.9%
スポーツ活動・健康づくりの盛んな“まち”	4	23.5%
芸術・文化活動の盛んな“まち”	-	-
地元の産業が元気な“まち”	2	11.8%
観光・レクリエーションが盛んな“まち”	4	23.5%
省エネやリサイクルなどの環境問題に取り組む“まち”	1	5.9%
自然環境や景観を重視する“まち”	3	17.6%
道路や下水道などの都市基盤が整備された“まち”	3	17.6%
災害・犯罪のない安全・安心な“まち”	4	23.5%
人と人とのふれあいを大切にした“まち”	9	52.9%
住民が積極的にまちづくりにかかわる“まち”	4	23.5%
その他	-	-

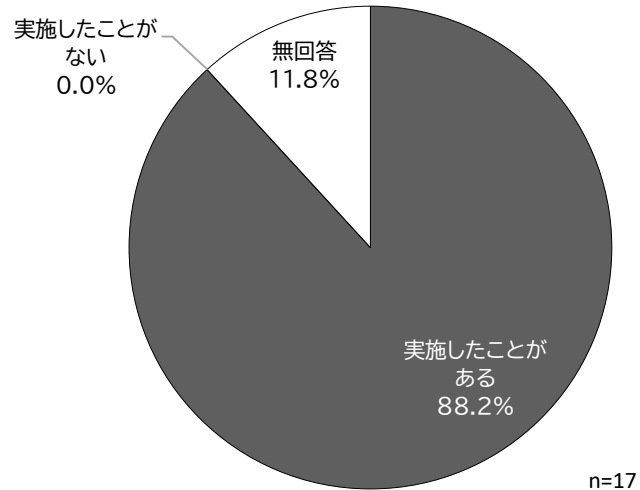


2 まちづくりへの参加について

問 2-1 役場や住民と協力して活動を行う取り組み（以下「協働」という。）を実施したことがありますか。（1つに○）

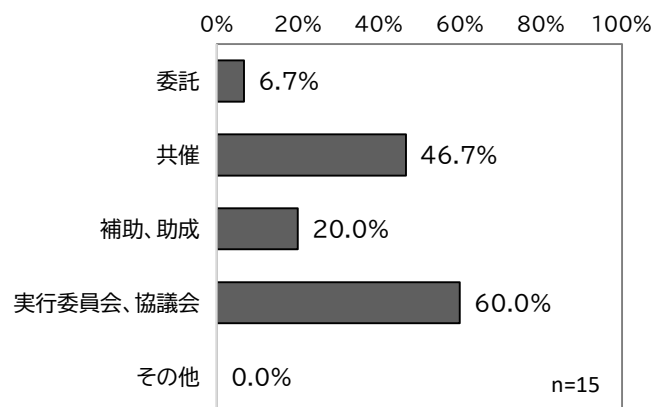
- 「実施したことがある」(88.2%)が多い。
 ○協働の形態については、「実行委員会、協議会」(60.0%)が最も多く、次いで「共催」(46.7%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
実施したことがある	15	88.2%
実施したことがない	-	-
無回答	2	11.8%



【問 2-1 「1.実施したことがある」を回答】 ※協働の形態について

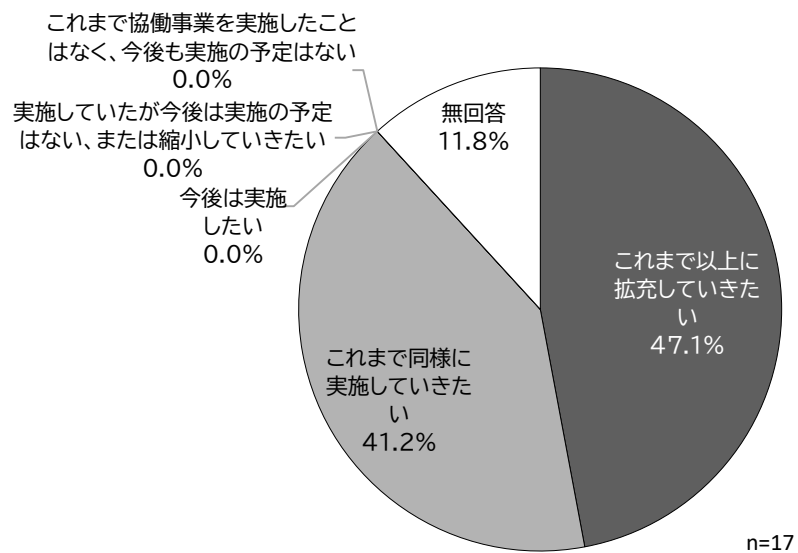
調査数(n=15)	回答数	割合
委託	1	6.7%
共催	7	46.7%
補助、助成	3	20.0%
実行委員会、協議会	9	60.0%
その他	-	-



問 2-2 役場や住民との協働について、今後実施していきたいと思いますか。(1つに○)

○「これまで以上に拡充していきたい」(47.1%)が最も多く、次いで「これまで同様に実施していきたい」(41.2%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
これまで以上に拡充していきたい	8	47.1%
これまで同様に実施していきたい	7	41.2%
今後は実施したい	-	-
実施していたが今後は実施の予定はない、または縮小していきたい	-	-
これまで協働事業を実施したことはなく、今後も実施の予定はない	-	-
無回答	2	11.8%



【問2-2で「1」、「2」又は「3」に○をつけた団体にお聞きします。】

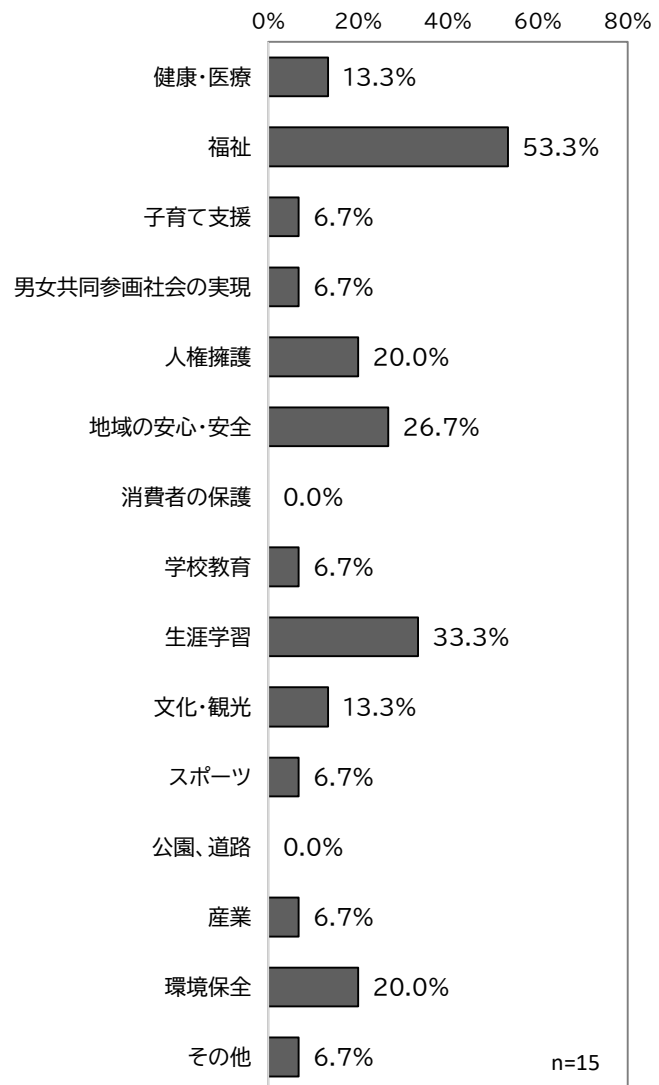
問2-3 次の項目のうち、貴団体ではどのような分野で協働が可能だと考えますか。
(3つまで○)

○「福祉」(53.3%)が最も多く、次いで「生涯学習」(33.3%)、「地域の安心・安全」(26.7%)となっている。

調査数(n=15)	回答数	割合
健康・医療	2	13.3%
福祉	8	53.3%
子育て支援	1	6.7%
男女共同参画社会の実現	1	6.7%
人権擁護	3	20.0%
地域の安心・安全	4	26.7%
消費者の保護	-	-
学校教育	1	6.7%
生涯学習	5	33.3%
文化・観光	2	13.3%
スポーツ	1	6.7%
公園、道路	-	-
産業	1	6.7%
環境保全	3	20.0%
その他	1	6.7%

【順位別】

調査数(n=15)	回答数	割合
福祉	8	53.3%
生涯学習	5	33.3%
地域の安心・安全	4	26.7%
人権擁護	3	20.0%
環境保全	3	20.0%
健康・医療	2	13.3%
文化・観光	2	13.3%
子育て支援	1	6.7%
男女共同参画社会の実現	1	6.7%
学校教育	1	6.7%
スポーツ	1	6.7%
産業	1	6.7%
その他	1	6.7%
消費者の保護	-	-
公園、道路	-	-



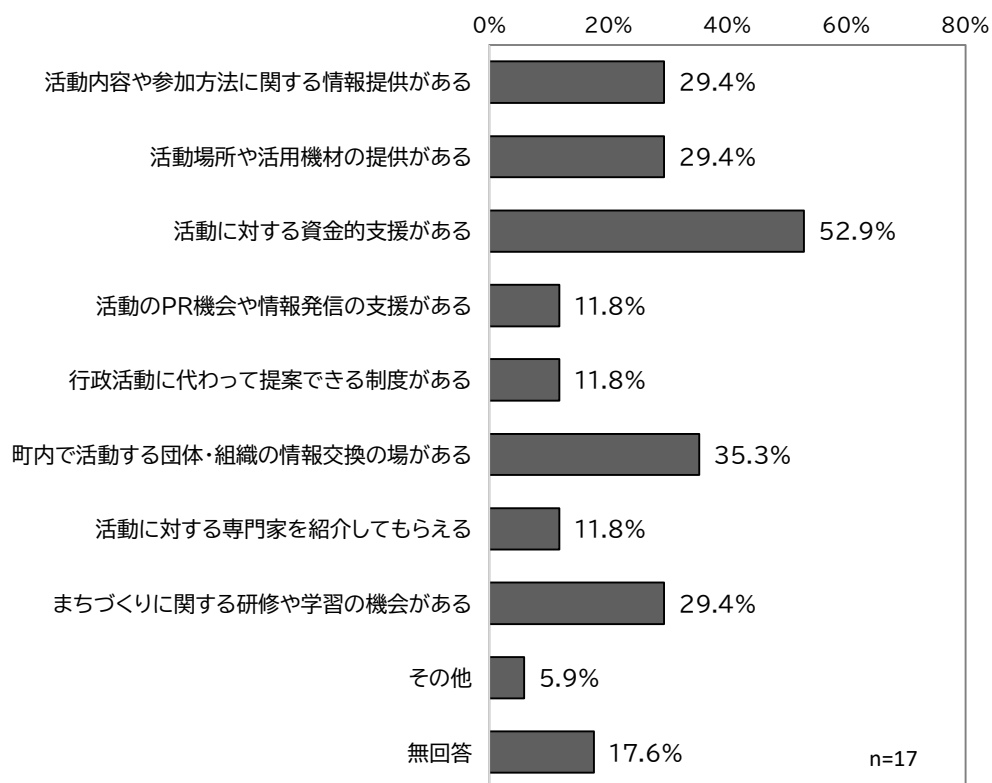
【「その他」の回答】

災害ボランティア活動

問 2-4 今後、協働による活動を行う場合、どのような条件が必要だとお考えですか。
(3つまで○)

○「活動に対する資金的支援がある」(52.9%)が最も多く、次いで「町内で活動する団体・組織の情報交換の場がある」(35.3%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
活動内容や参加方法に関する情報提供がある	5	29.4%
活動場所や活用機材の提供がある	5	29.4%
活動に対する資金的支援がある	9	52.9%
活動のPR機会や情報発信の支援がある	2	11.8%
行政活動に代わって提案できる制度がある	2	11.8%
町内で活動する団体・組織の情報交換の場がある	6	35.3%
活動に対する専門家を紹介してもらえる	2	11.8%
まちづくりに関する研修や学習の機会がある	5	29.4%
その他	1	5.9%
無回答	3	17.6%



【「その他」の回答】

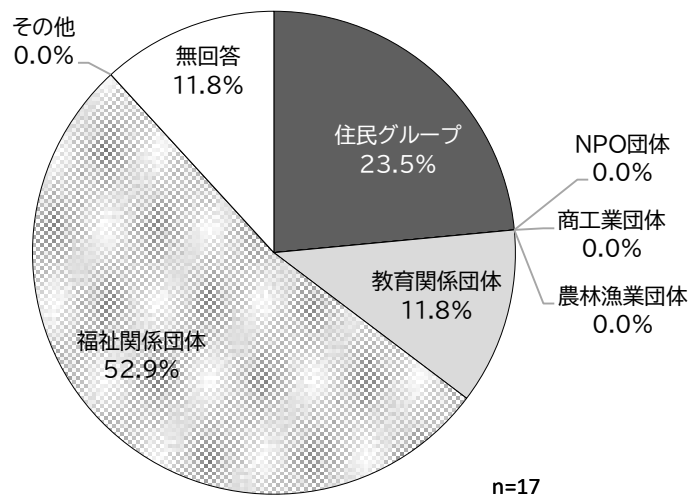
以前「大人の林間学校」という活動をしていました。好評でやめた今でも、時々やってくれないかと要望があります。

3 貴団体の活動概要について

問 3-1 貴団体の活動種別（1 つに○）

○「福祉関係団体」(52.9%)が最も多く、次いで「住民グループ」(23.5%)、「教育関係団体」(11.8%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
住民グループ	4	23.5%
NPO団体	-	-
商工業団体	-	-
農林漁業団体	-	-
教育関係団体	2	11.8%
福祉関係団体	9	52.9%
その他	-	-
無回答	2	11.8%



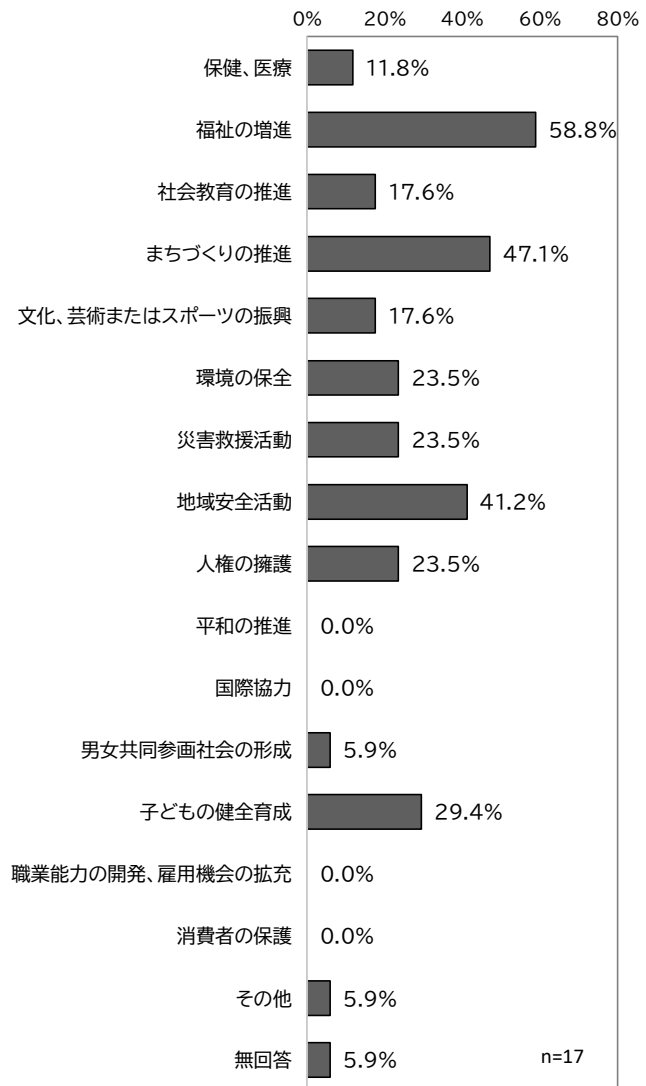
問 3-2 貴団体の主な活動内容（あてはまるものすべてに○）

○「福祉の増進」(58.8%)が最も多く、次いで「まちづくりの推進」(47.1%)、「地域安全活動」(41.2%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
保健、医療	2	11.8%
福祉の増進	10	58.8%
社会教育の推進	3	17.6%
まちづくりの推進	8	47.1%
文化、芸術またはスポーツの振興	3	17.6%
環境の保全	4	23.5%
災害救援活動	4	23.5%
地域安全活動	7	41.2%
人権の擁護	4	23.5%
平和の推進	-	-
国際協力	-	-
男女共同参画社会の形成	1	5.9%
子どもの健全育成	5	29.4%
職業能力の開発、雇用機会の拡充	-	-
消費者の保護	-	-
その他	1	5.9%
無回答	1	5.9%

【順位別】

調査数(n=17)	回答数	割合
福祉の増進	10	58.8%
まちづくりの推進	8	47.1%
地域安全活動	7	41.2%
子どもの健全育成	5	29.4%
環境の保全	4	23.5%
災害救援活動	4	23.5%
人権の擁護	4	23.5%
社会教育の推進	3	17.6%
文化、芸術またはスポーツの振興	3	17.6%
保健、医療	2	11.8%
男女共同参画社会の形成	1	5.9%
その他	1	5.9%
平和の推進	-	-
国際協力	-	-
職業能力の開発、雇用機会の拡充	-	-
消費者の保護	-	-
無回答	1	5.9%



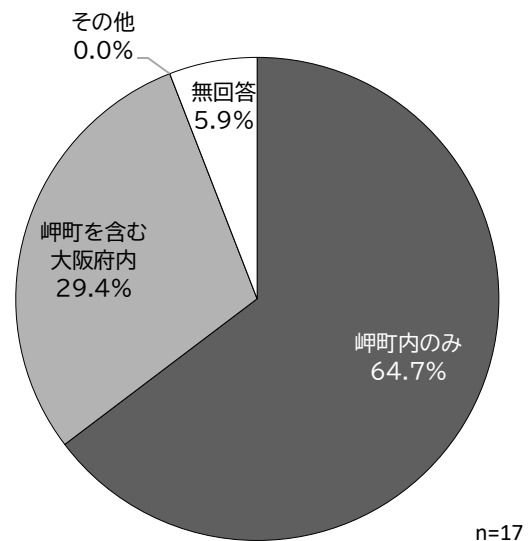
【「その他」の回答】

観光案内

問 3-3 貴団体の主な活動場所（1つに○）

○「岬町内のみ」(64.7%)となっている。

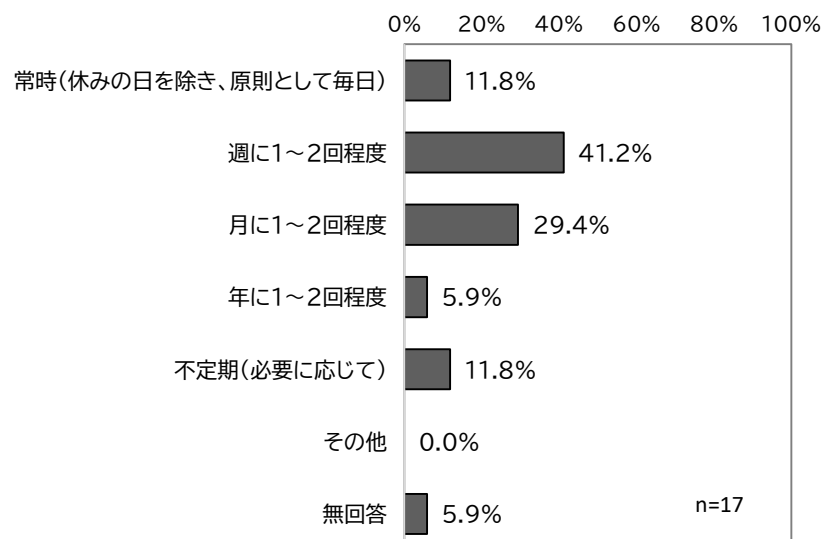
調査数(n=17)	回答数	割合
岬町内のみ	11	64.7%
岬町を含む大阪府内	5	29.4%
その他	-	-
無回答	1	5.9%



問 3-4 貴団体の活動頻度（あてはまるものすべてに○）

○「週に1～2回程度」(41.2%)が最も多く、次いで「月に1～2回程度」(29.4%)となっている。

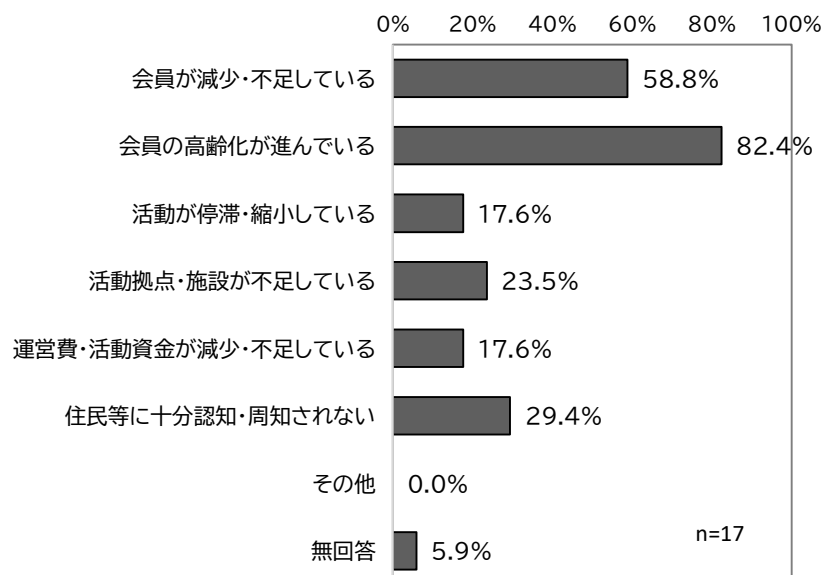
調査数(n=17)	回答数	割合
常時(休みの日を除き、原則として毎日)	2	11.8%
週に1～2回程度	7	41.2%
月に1～2回程度	5	29.4%
年に1～2回程度	1	5.9%
不定期(必要に応じて)	2	11.8%
その他	-	-
無回答	1	5.9%



問 3-5 貴団体の課題（あてはまるものすべてに○）

○「会員の高齢化が進んでいる」(82.4%)が最も多く、次いで「会員が減少・不足している」(58.8%)、「住民等に十分認知・周知されない」(29.4%)となっている。

調査数(n=17)	回答数	割合
会員が減少・不足している	10	58.8%
会員の高齢化が進んでいる	14	82.4%
活動が停滞・縮小している	3	17.6%
活動拠点・施設が不足している	4	23.5%
運営費・活動資金が減少・不足している	3	17.6%
住民等に十分認知・周知されない	5	29.4%
その他	-	-
無回答	1	5.9%



まちの将来像やまちへの想いなど

5 件の意見があった。

自 由 意 見
若い人が住みたくなるような町を
少子化を逆手にとって教育が行き届いた町として、また、自然に恵まれた子育てしやすい町として認識されるようになってほしい。
大きな構想はなかなか進まず、難しいが、私たちがしているような身近な地域で助け合える地域共生社会に向けた取り組みを町内各地域に広げてほしい。そして、空き家対策・防災対策・健康づくり・生きがいに繋げていける仕組みづくりを。
人権に対する意識を高めていくようにしてほしい。若い人がこの町で生きていきたいと思うには何を求めているかきちんと受け止め現実化することが必要。自然や人の心に頼っている行政ではなく魅力ある町に。
難波から電車で40分。海と山の両方が間近に楽しめる。私も東京から飛騨高山の大自然のふもとで8年移住、しかし、冬の厳しさから将来を考えて温暖な岬町に来て27年経ちました。交通の便のいい自然を楽しめる町として、また一年間の晴天率が非常に高いということをもっとアピールしたらいいと思います。会員の中に天王寺、美章園、堺、高石の人がいます。観光業の根本はサービス精神です。

アンケート調査票

岬町総合計画後期基本計画策定のための アンケート調査ご協力のお願い

関係団体の皆様へ

◆ご協力のお願い

日ごろから町政の推進にご理解をいただき、ありがとうございます。

本町では令和3年から令和12年までを計画期間とする「第5次岬町総合計画」を策定し、まちづくりの目標を示した「前期基本計画」に基づき、施策を推進して参りました。

一方、計画策定当初より社会情勢が変化し、情報通信技術（ICT）の浸透によるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進など、本町を取り巻く環境変化も大きく変化しています。

この度、令和7年度末で「前期基本計画」の計画期間終期を迎えるため、時代の流れを踏まえつつ、本町における今後の総合的かつ計画的な行政運営の指針を定めるため、「後期基本計画」を策定します。

今後、よりよいまちづくりを進めていくため、町内で活動されている団体の皆様のご意見や考えをお聞きして、総合計画に反映していく基礎資料とするために、アンケート調査を行うことといたしました。

つきましては、お忙しいところ、恐れ入りますが、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容を総合計画「後期基本計画」策定の目的以外に使用することは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

令和7年5月

岬町

＜アンケートご記入上の注意＞

- どなたが書いていただいても結構ですが、個人としてではなく、貴団体としてお答えください。
- アンケートにご記入のうえ、お手数ですが折りたたんで、同封の「返信用封筒」に入れ、令和7年6月27日（金）までにご返送ください。
- このアンケートについて、ご質問がありましたら、下記までお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞

岬町 まちづくり戦略室 企画地方創生担当

〒599-0392 岬町深日 2000 番地の1

TEL：(072)492-2775 FAX：(072)492-5814

メール：kouhou@town.osaka-misaki.lg.jp

問 1. 岬町の印象などについておたずねします。

問 1 - 1 岬町での活動のしやすさについて、どのように感じておられますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 活動しやすいまちである | 2. どちらかといえば活動しやすいまちである |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば活動しにくいまちである |
| 5. 活動しにくいまちである | 6. わからない |

○をした理由をお聞かせください

問 1 - 2 貴団体から見た岬町のまちづくりの課題は何だと思えますか。

ご自由にお書きください：

問 1 - 3 貴団体では、岬町が将来どのようなまちになることが望ましいと思えますか。(3つまで○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 福祉と医療の充実した“まち” | 2. 子育てや教育に熱心な“まち” |
| 3. スポーツ活動・健康づくりの盛んな“まち” | 4. 芸術・文化活動の盛んな“まち” |
| 5. 地元の産業が元気な“まち” | 6. 観光・レクリエーションが盛んな“まち” |
| 7. 省エネやリサイクルなどの環境問題に取り組む“まち” | 8. 自然環境や景観を重視する“まち” |
| 9. 道路や下水道などの都市基盤が整備された“まち” | 10. 災害・犯罪のない安全・安心な“まち” |
| 11. 人と人とのふれあいを大切にした“まち” | 12. 住民が積極的にまちづくりにかかわる“まち” |
| 13. その他（具体的に： | ） |

問 2. まちづくりへの参加についておたずねします。

問 2-1 役場や住民と協力して活動を行う取り組み（以下「協働」という。）を実施したことがありますか。（1つに○）

1. 実施したことがある

※協働の形態について、該当項目に○を記入してください

委託 ・ 共催 ・ 補助、助成 ・ 実行委員会、協議会 ・ その他（ ）

2. 実施したことがない

問 2-2 役場や住民との協働について、今後実施していきたいと思いませんか。（1つに○）

1. これまで以上に拡充していきたい

2. これまで同様に実施していきたい

3. 今後は実施したい

4. 実施していたが今後は実施の予定はない、または縮小していきたい

5. これまで協働事業を実施したことはなく、今後も実施の予定はない

問 2-3 へ

問 2-4 へ

（問 2-2 で「1」、「2」又は「3」に○をつけた団体にお聞きします。）

問 2-3 次の項目のうち、貴団体ではどのような分野で協働が可能だと考えますか。（3つまで○）

1. 健康・医療

2. 福祉

3. 子育て支援

4. 男女共同参画社会の実現

5. 人権擁護

6. 地域の安心・安全

7. 消費者の保護

8. 学校教育

9. 生涯学習

10. 文化・観光

11. スポーツ

12. 公園、道路

13. 産業

14. 環境保全

15. その他（具体的に：

→問 2-4 にお進みください

問 2-4 今後、協働による活動を行う場合、どのような条件が必要だとお考えですか。（3つまで○）

1. 活動内容や参加方法に関する情報提供がある

2. 活動場所や活用機材の提供がある

3. 活動に対する資金的支援がある

4. 活動のPR機会や情報発信の支援がある

5. 行政活動に代わって提案できる制度がある

6. 町内で活動する団体・組織の情報交換の場がある

7. 活動に対する専門家を紹介してもらえる

8. まちづくりに関する研修や学習の機会がある

9. その他（具体的に：

同3. 貴団体の活動概要についておたずねします。

図3-1 貴団体の活動種別（1つに○）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 住民グループ | 2. NPO団体 |
| 3. 商工業団体 | 4. 農林漁業団体 |
| 5. 教育関係団体 | 6. 福祉関係団体 |
| 7. その他（具体的に： | ） |

同 3-2 貴団体の主な活動内容（おてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|---------------------|-----------------|
| 1. 保健、医療 | 2. 福祉の増進 | 3. 社会教育の推進 |
| 4. まちづくりの推進 | 5. 文化、芸術またはスポーツの振興 | 6. 環境の保全 |
| 7. 災害救援活動 | 8. 地域安全活動 | 9. 人権の擁護 |
| 10. 平和の推進 | 11. 国際協力 | 12. 男女共同参画社会の形成 |
| 13. 子どもの健全育成 | 14. 職業能力の開発、雇用機会の拡充 | 15. 消費者の保護 |
| 16. その他（具体的に： | ） | |

問 3 - 3 貴団体の主な活動場所（1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 堺町内のみ | 2. 堺町を含む大阪府内 |
| 3. その他（具体的に： | ） |

図 3-4 貴団体の活動頻度（あてはまるものすべてに○）

1. 常時（休みの日を除き、原則として毎日） 2. 週に1～2回程度 3. 月に1～2回程度
4. 年に1～2回程度 5. 不定期（必要に応じて）
6. その他（具体的に： ）

問 3-5 各団体の課題（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 会員が減少・不足している | 2. 会員の高齢化が進んでいる |
| 3. 活動が停滞・縮小している | 4. 活動拠点・施設が不足している |
| 5. 運営費・活動資金が減少・不足している | 6. 住民等に十分認知・周知されない |
| 7. その他（具体的に： | ） |

問 4. 貴団体とご回答者の方についておたずねします。

団体等の名称	
代表者名	
所 在 地	〒
ご回答者のお名前と役職名	
連絡先	電話：() － E-mail：
活動している人数（会員数）	人
団体の設立時期	明治・大正・昭和・平成 年
設立目的	

まちの将来像やまちへの想いなど、ご自由に意見をお書きください。

ご多忙の中、ご協力いただきましてありがとうございました。

返送用の封筒に入れて、令和 7 年 6 月 2 7 日（金）までに切手を貼らずにポストへ入れてください。